

平成 30 年度鈴鹿工業高等専門学校専攻科入学式 校長式辞

本日、春の香りが満ち溢れるこの良き日、平成 30 年度鈴鹿工業高等専門学校専攻科入学式を挙げていただけますことを、大変嬉しく思います。学科での優秀な成績に基づいた推薦や、厳正な選抜試験を乗り越えて入学された 26 名の専攻科入学生の皆様、誠にありがとうございます。教職員一同を代表して心からお祝い申し上げますとともに歓迎いたします。

高専の専攻科は、本科の教育の基礎の上に立って、専門領域における高度の知識・技能を使いこなすとともに、複合領域に対応できる幅広い視野を身につけ、高度の課題設定・問題解決能力を備えた創造性豊かな実践的技術者の育成を目指すものです。

総合イノベーション工学専攻からなる本校の専攻科は、1993 年に設置された電子機械工学専攻、応用物質工学専攻の 2 専攻を改組し、昨年度より新たに発足したものです。環境・資源、エネルギー・機能創成、ロボットテクノロジーの 3 コースとグローバルエンジニアプログラムを有する新専攻は、産業の融合・複合化が益々進む社会において、各専門分野で培った高度な技術を発展させるとともに、次世代の新技术を創成できる広い視野と幅広い知識を有した、国際的にも通用する創造的実践的技術者を養成することを目指しています。

皆さんはその専攻の二期生となります。そして、専攻科修了時には、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位が授与されますので、誇りと向上心、そして気概を持ってこれからの学校生活を営んでいただきたいと思います。ただ、ともすれば同じキャンパスで学業を営むこととなりますので甘えが生じるかもしれません。積極的に外の世界に接する努力をしてほしいと思います。

さて、皆さんが社会の中核として活躍する時代は、どんな時代でしょうか。現在からはとても想像もつかない時代になるかもしれません。急速に進化する AI やロボット関連技術、また 3D プリンターに代表される製造方法の革新、これらをインターネットのもとに取り込んで、ものづくりの社会を大幅に変える IoT 技術も発展してきました。私の専門の化学合成においてもフロー・マイクロ合成など新しい潮流が起こっています。フロー・マイクロ合成とはマイクロメートルオーダーの細い管の中に液を流しながら物質を合成する方法です。秒からミリ秒オーダーの反応時間を正確に制御できるのでフラスコでは不可能な反応が可能になります。もうすでに、この反応技術は一部の医薬品の工業的製造にも利用されています。また、合成ロボットを使った化学合成や、AI による合成法の開発なども行われるようになってきました。まさに、新たな産業革命の時代に入ってきたといえます。

このような時代を迎えて、皆さんには、創造力をもった技術者や研究者になっていただきたいと思います。すべての人は創造力をもっています。しかし、それを発揮するためには、さらに高め、磨いていく必要があります。そのためにはどうすればよいのでしょうか。私は、イマジネーションする能力を磨くこ

とが重要だと思います。イマジネーションとは未知のこと、未だ起こっていないことに思いをめぐらすことです。あることが起これば次にどんなことが起こる可能性があるのだろうか。あることを見つければ、その周辺にはどんなものがあるのだろうか。そういうふうにして、小さなことでもどんどんイマジネーションを膨らませてください。そういう習慣をつけることによって創造力が高まります。クリエーションはイマジネーションからです。

私たちには真に社会に役立つ創造性が求められています。そのためには、歴史や哲学も勉強することが必要です。歴史には過去の人々の人生が詰まっています。哲学には人生の知恵が詰まっています。歴史や哲学は、私たちが進むべき道を照らしてくれます。

皆さんの中には、専攻科修了後は社会人として働く人も、また研究を続けるためにさらに大学院へ進学する人もいるでしょう。専攻科 2 年間で自分の進むべき道を選んでください。未来の社会は皆さんが創るのです。次の社会の担い手になるべく、専攻科 2 年間の生活を有意義に過ごしてください。皆さんの更なる成長・発達を願って、お祝いのあいさつとします。

平成 30 年 4 月 5 日

鈴鹿工業高等専門学校長
吉田 潤一